

健康診断結果（電子媒体）の誤送付について（お詫び）

2026 年 9 月 15 日

この度、当健康管理センターが実施した健康診断の結果において、本来の報告先である健保組合様に送付すべき健診結果データの電子媒体（4 名分）を誤って関連事業所様に送付する事案が発生いたしました。

誤送付いたしましたご本人様をはじめ、関係者の皆様にご心配とご迷惑をおかけすることとなりましたことを心より深くお詫び申し上げます。

1. 経緯

関連事業所様より健保組合様の健診結果データも含まれているとの報告を受け、当健康管理センターの担当者含め確認をしたところ誤送付であったことが判明いたしました。

漏洩した個人情報の内容は、「保険証記号番号」「氏名」「生年月日」「性別」「受診日」「健診結果」です。

なお、誤送付いたしました健診結果データ（電子媒体）については関連事業所様において破棄していただいておりますので、個人情報がかれ以上利用・拡散されないことを確認しております。関連事業所様には適正な健診結果データ（電子媒体）をお送りいたしました。

2. 発覚後の対応

健保組合様から個人情報保護委員会・九州厚生局など関係機関への報告がなされております。当健康管理センターでは、個人情報保護規定に則り緊急健康管理センター会議を招集し対応を協議（事実確認・原因究明・再発防止策等）、その内容について本体であります病院の上層部会議に報告し、組織として必要な措置を講ずることを確認いたしました。

なお、誤送付となりました健診結果データのご本人様には経緯を説明のうえ謝罪いたしました。

3. 発生原因及び再発防止策

今回の事案は、健診結果を事業所ごとに電子媒体で報告する際に、対象となる事業所と電子媒体のデータ内容について、十分な照合確認が行われていなかったことが原因です。担当者以外の職員で行われるダブルチェック体制、更には最終確認等作業手順が徹底されておらず、チェック機能が効かなかったことにより誤送付が発生しました。

再発防止策といたしましては、電子媒体データ内容の照合（事業所名や対象者等）やダブルチェック体制の必須化、その工程をチェックリスト導入により確認者及び確認項目の明確化など再発防止に全力で取り組んでまいります。同時に個人情報を取り扱う健診機関として、職員への教育・研修を強化し、個人情報の適切な管理に努めてまいります。

受診者様ならびに関係者様の皆様にご迷惑をおかけいたしました。重ねてお詫び申し上げます。

公益社団法人 北部地区医師会

北部地区医師会病院 健康管理センター

センター長 山城 章裕